

調査研究報告書 No.100
2001



高度職業訓練の現状と課題
— 応用課程を中心として —

雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

ISSN 1340-2412

調査研究報告書 No.100
2001

高度職業訓練の現状と課題
－応用課程を中心として－

雇用・能力開発機構

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

はじめに

我が国の景気が長期的に低迷している中で、産業構造の変化に伴い、ものづくりの重要性が再確認された。現在でも急速に進むグローバル化の流れや高度情報化等の技術は新たなビジネスを次々と生み、常にめまぐるしく変化している。ものづくりの母体となる生産現場においても、新製品の開発や製品への高付加価値化等により生き残りをかけた生産変革が急速に進められている。このような状況の下、平成8年度に労働省は「産業社会の変化に対応した職業訓練のビジョンを考える懇談会」を開催し、産業構造の転換・技術革新に対応する「高度実践技術者」を育成すべきことを答申した。これをきっかけに、平成11年に応用課程及び応用短期課程の高度職業訓練が新設されることとなる。

応用課程は、現在雇用・能力開発機構が運営する職業能力開発大学校において、それまでの実践技術者を育成する専門課程に加えて、新たな教育訓練システムを取り入れた、今後の生産現場を担うリーダー（高度実践技術者）となる素養を持った人材を育成すべき課程として創られた。平成13年度までに、11個所が設置された。

本報告書は、高度職業訓練の応用課程を中心に、設置にいたる記録や設立経緯を明らかにし、さらに背景となる産業界の状況を分析し後世に残すものである。加えて現時点での職業能力開発大学校の状況を客観的に捉え、高度職業訓練の抱える課題から今後の課題解決への方策を展望としてまとめたものである。

この報告書が今後の応用課程の充実発展に寄与することを願うものである。

また、この報告書をまとめるにあたり、ご多忙の中、各企業の方々をはじめ調査、執筆にご協力をいただいた方々に心から厚くお礼申し上げたい。

2001年3月

職業能力開発総合大学校

能力開発研究センター

所長 高橋 則雄

研究プロジェクトメンバー（敬称略・順不同）

渡辺 憲一	特定非営利活動法人 デジタル情報産業振興会
玉井 豊	株式会社 リンクス
中山 勝己	I MM情報マネジメント研究所
工藤 光昭	東北職業能力開発大学校
国谷 滋	北陸職業能力開発大学校
槌谷 雅裕	職業能力開発総合大学校東京校
杉本 誠一	近畿職業能力開発大学校
岩下 陽市	九州職業能力開発大学校
平塚 剛一	職業能力開発総合大学校
山見 豊	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター
平山 正己	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター
能美 英生	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター

目 次

第1章 職業能力開発と高度職業訓練	1
第1節 職業能力開発の歴史	3
1-1 人類とものづくり	3
1-2 教育と職業訓練	4
1-3 戦後の職業能力開発の歴史	4
1-4 職業訓練から職業能力開発へ	6
第2節 職業能力開発促進法に基づく高度職業訓練（応用課程）	7
2-1 高度職業訓練（応用課程）発足までの道のり	7
2-2 職業能力開発促進法の目的と理念	7
2-3 学校教育との関係	8
2-4 職業訓練の区分	8
2-5 高度職業訓練（応用課程）の位置付け	10
第2章 応用課程成立の経緯	15
第1節 応用課程の成立背景（第6次職業能力開発基本計画以降）	17
1-1 試案	17
1-2 コンセプトづくり	18
1-3 基本方針づくり	18
1-4 ビジョン懇談会答申	19
1-5 職業能力開発制度の改善へと	19
第2節 応用課程の成立背景（平成9年）	20
2-1 大学校化への推進	20
2-2 大学校カリキュラム等作業部会	21
第3節 応用課程準備期（応用課程担当指導員研修 平成10年）	24
第4節 応用課程発足（新能開大誕生 平成11年以降）	25
第3章 高度職業訓練を取り巻く情勢	27
第1節 教育界の動き	29
1-1 教育改革プログラムと教育改革国民会議	29
1-2 大学審議会答申等	32
1-3 日本技術者教育認定基準	35
1-4 期待される教育実践	38
第2節 産業界の現状	40
2-1 景気	40
2-2 産業界の現状	41
2-3 21世紀の課題	48
第3節 「ものづくり現場からの要望」現場ヒヤリング報告	49
3-1 はじめに	49

3-2	調査結果について	49
3-3	まとめ	64
第4章	高度職業訓練（応用課程）の現状	69
第1節	応用課程とは	71
1-1	目標・目的	71
1-2	教育訓練システム	71
1-3	カリキュラム	75
1-4	実施施設	81
1-5	定員一覧	81
第2節	応用短期課程	82
2-1	目標・目的	82
2-2	カリキュラム	82
2-3	実施計画コース一覧	86
第3節	取組状況	88
3-1	生産システム技術系	88
3-2	居住・建築システム技術系	100
3-3	開設に係る当面の課題	110
第5章	高度職業訓練（応用課程）の課題と展望	115
第1節	指導員側から見た課題と展望	117
1-1	指導者としての理念	117
1-2	指導員の現状、問題及び課題	118
1-3	動機付けの大切さとヒューマンスキルを磨く指導	119
1-4	訓練システムでの評価法と様々なギャップ	121
第2節	受講者側から見た課題と展望	122
2-1	入口の問題	122
2-2	出口の問題	123
2-3	動機付け、やる気、ヒューマンスキル	124
第3節	企業に送り出すための課題と展望	125
第4節	まとめにかえて	128
4-1	応用短期課程の可能性	128
4-2	応用課程の可能性	128
4-3	さあ21世紀型訓練が開始された	129
補助資料		131
・	松下ものづくり大学の紹介	134
・	遠隔教育の課題と展望	136